

令和5年度提案型協働事業の選考結果について

1 協働事業提案制度について

協働事業提案制度は、市民のアイデアやノウハウを活かした事業の提案を募集し、市民と市が協働で事業を実施することで、地域課題の解決を目指すための制度です。

この協働事業提案制度は、市民提案型協働事業と行政提案型協働事業があり、市民提案型協働事業は、市民の自由な発想に基づき、協働事業を市に対して提案できるもので、行政提案型協働事業は、市が地域課題として掲げるテーマに基づき、協働事業を市に対して提案できるものです。

2 協働事業提案制度のながれ

令和5年度の提案型協働事業については、令和4年7月1日から8月1日までを事前相談期間、8月10日を提案書提出期間とし、最終的に市民提案型協働事業2事業、行政提案型協働事業1事業のご提案をいただきました。

令和4年10月7日に公開プレゼンテーションを実施し、提案団体及び市担当課によるプレゼンテーションと質疑応答を行い、その後、当会議の委員で構成する「提案型協働事業選考部会（以下「部会」といいます。）」と府中市職員で構成する「市民協働推進委員会」との意見交換を経て、部会において審査会を実施しました。

審査においては、提案内容、事業の妥当性、事業成果、協働の必要性、実現可能性を踏まえ、令和5年度は3事業を採択しました。

そして、部会案を当会議において審議し、令和5年度提案型協働事業の選考結果としました。

3 令和5年度提案型協働事業の傾向について

採択となった事業については、地域課題や市民ニーズの分析がされており、市内に広く効果が期待できるとともに、協働の必要性が高い事業で、達成しようとする目標や成果が明確でした。

協働で事業を行うに当たっては、相互理解を深め、それぞれの強みを活かし合い、協働による相乗効果や波及効果を得るとともに、一過性のもので終わることなく、事業の継続性や発展性を意識しながら事業を進めることを期待します。

また、事業を進めるにあたり、市内で活動する他団体をはじめとする他の主体や、市の他部署を巻き込むことが更なる事業の発展に期待します。

4 今後の協働事業提案制度について

協働事業提案制度については、補助対象経費の拡大や企業からの提案を受け付けることができるよう一部改正し、募集を行いました。

また、事業経費については、より団体にとって活用しやすい制度となるため、より多くの必要経費が認められるよう、検討していただきたい。

今後も、今まで以上に制度が活用され、地域課題の解決につながるよう、更なる改善を期待します。

令和5年度提案型協働事業 選定結果

当会議が行った、令和5年度提案型協働事業選定結果については、次のとおりです。

■市民提案型協働事業

	事業名	団体名	市担当課	事業概要	補助金額	選定結果	採択に当たっての付帯条件または不採択の理由等
1	うたうまち府中プロジェクト	うたうまち府中プロジェクト実行委員会	文化生涯学習課	音楽の都ウィーンとの都市交流や府中の森芸術劇場という府中市の財産をいかし、誰もが主体的に活動に参加できる場を提供する。音楽がまちにあふれ、盛り上げることで、音楽による豊かなまちづくりを目指すため、市内で音楽活動をする団体に活動の際に「うたうまち府中(仮)」のロゴのPR協力を依頼、地域の小中学校及び子供施設などを訪問してのアウトリーチ(訪問演奏や協同体験)活動の実施、参加団体が合同で行う演奏会を行う。	500,000円	条件付き採択	<p>【採択理由】 本事業に市が参画することにより、音楽を通じて府中を盛り上げていく機運の醸成等に効果が期待できる事業である。</p> <p>【付帯条件】 「うたうまち府中(仮)」の活動を根付かせるため、将来の音楽祭開催等に向けた令和6年度の活動計画を提出すること。</p> <p>【主な意見】 一過性のイベントで終わらせるのではなく、イベント終了後も「うたうまち府中(仮)」の取組を継続し、より多くの人に取り組みを知って貰えるような事業となるように取り組んでいただきたい。</p> <p>市側においては、地域の学校等への訪問活動のフォローをするなど、お互いの特性をいかし、連携・協力して事業を進めていただき、「音楽のまち・府中」としてまちが活性化し、市民が心豊かに日常を過ごすことが出来るよう、協働による相乗効果の発揮を期待したい。</p>
2	府中市・共生タウン化プロジェクト	府中視覚障害者福祉協会	障害者福祉課	府中市の市民・行政・民間事業者に対して「合理的配慮の提供」に対する理解を促し、府中市における共生社会の実現に向けた取組みを推進するため、「合理的配慮の提供と共生タウン」をテーマとした意識啓発セミナーの実施、「共生タウン」の実現に向けた様々な技術・機器の展示会の実施、共生タウン化実証実験の実施、事業報告を兼ねたシンポジウムの開催を行う。	500,000円	採択	<p>【採択理由】 障害者差別解消法により求められている、障害がある方への合理的配慮の提供についての理解を進めていくために必要な事業である。</p> <p>【主な意見】 合理的配慮の提供への理解を進め、障害者の社会参加を推進していくため、一過性のプロジェクトではなく、今後も継続した事業として計画的に取り組んでいただきたい。</p> <p>民間事業者等に本事業を知ってもらうために、市と団体それぞれの持つネットワークを活かし、周知・PRを効果的におこなうこと。その際には、単にイベントの周知だけでなく、事業を開催する意義を伝えて周知していただきたい。</p>

■行政提案型協働事業

	事業名	団体名	市担当課	事業概要	申請額	選定結果	採択に当たっての付帯条件または不採択の理由等
1	VUCA時代のほっこりする ご近所づきあい	合同会社STER AUM	産業振興課	<p>《商店街の空き店舗を活用した 商店街活性化事業》</p> <p>市内商店街の空き店舗の増加によるイメージの悪化や商店街が役割として担う地域住民の交流の場や商店による見守りについて、商店街のにぎわいを創出することで、それらの役割を果たし、商店街全体の活性化につながることを目的に、空き店舗を活用し地域の実情やニーズに応じた形で、持続可能な地域活性化を支援するための実証実験を兼ねた以下のプロジェクトを実施する。</p> <p>①&（アンド） コーヒーのお店 人物事の接点となる場づくりとして、誰もが気軽に立ち寄れて、週替わりで府中の美味しいものとコーヒーを提供する。</p> <p>②料理教室や実演販売など子育て世代が集まるワクワクしたイベントを実施する。</p> <p>③府中のお得情報の提供や子ども見守り、高齢者の孤立防止などに取り組む。</p>	1,012,240円	採択	<p>【採択理由】 商店街の空き店舗を活用した商店街活性化を支援するための実証実験を兼ねたプロジェクトであり、商店街を通して新たなコミュニケーションが生まれ、地域の愛着が増し、多様性の強みを地域還元につなげる事業として期待できる。</p> <p>【主な意見】 一過性のイベントではなく、地域を巻き込みながら地域課題に取り組むとともに、商店街のにぎわいを創出し、商店街全体の活性化につながるような取組みを継続していただきたい。</p>